

## 東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の懇談要旨（報告）

### 【医療関係】

- ・助産料の支援は非常にありがたい。
- ・圏域のお年寄りが元気に暮らしていける環境づくりを検診等の充実を図り行っていくことが大切。スポーツや文化等の事業開催時にドクター派遣の依頼があれば、医師会で協力していく。

### 【企業誘致関係】

- ・企業誘致も大切だが、今ある企業が逃げていかないようにすることも非常に大事。今ある企業は理由があつてそこに来ている。なぜそこに来たかということを探りながら新たな企業の誘致を進めるとともに、今ある企業が逃げないようにしていかなければならない。

### 【産業振興】

- ・地域活性化のため、中心市街地に人を呼び込もうと活動しているが、なかなか難しい。共生ビジョンの中で産業があまり取り上げられていないので、もう少し充実してもらえばと思う。

### 【情報通信】

- ・情報の共有化は様々な取り組みを推進するうえで非常に重要である。地域情報ネットワークシステム、コミュニティサイトなど充実を図ってほしい。

### 【交通関係】

- ・カキ祭りなどイベント時は交通渋滞が激しい。道路整備にも力をいれてほしい。
- ・イベント開催時などは、バスのピストン輸送なども検討してほしい。
- ・市町のエリアという枠を超えて運行している「圏域バス」はありがたい。今後も長く運行が続けられるように期待している。ただ、まだ、「圏域バス」を知らない人も多いので、PRを積極的に行ってほしい。

### 【文化・スポーツ】

- ・閑谷学校の赤穂義士の精神は「忠義」といった儒教がもとになっているもので、相通ずるものがある。今後こういう面でもPRしていけば活性化が図られるのではないか。
- ・トップアスリートの招聘もいいが、もう少し底辺を広げてお年寄りにスポーツに親しんでいただくようなことで健康を維持し、その結果、医療費が削減されるというようなことも考えられる。

### 【鳥獣被害対策】

- ・農業をやっているものは、非常に関心が高い。結果を出してほしい。

### 《アドバイザーのコメント》

- ・共生ビジョンの目的は、「この地域の中で、末永く持続的に生活できる環境を作る。そして人口流出を防ぐためのダムの役割を果たしていく。」このためにビジョンを作っていくということ。そのビジョンは大きく3つ。1つ目は生活。生活とは、「医療」、地域を結ぶ「交通」、「買い物」。こういうところが非常に大事。もう一つが「産業」、そして3つ目が「ネットワークづくり」である。
- ・元気なお年寄りが多いというのは、非常にいい。お年寄りにいかに頑張っていたらかというように予防に力を入れているところが医療費を抑えている。元気なお年寄りが多いというのは財産であるので、これからどうしていくかを考えていってほしい。健康寿命を延ばすためのスポーツの普及は大切。皆さんのがスポーツできるようなものを展開してほしい。
- ・人を呼び込むためには、地元がどれだけ誇りをもつかということが大事。この地域には閑谷学校や備前焼もあるし、赤穂義士という全国に誇れる歴史をもつというのは、その地域の人のプライドになる。こうした財産を再評価し、これをどう生かすかという発想を考えてほしい。
- ・企業誘致については、撤退する企業が増加する中、非常に厳しいものがある。今ある企業をいかに大事にするかという考えは大切。「無いものねだり」ではなく「有るもの磨き」の発想。3団体が知恵を絞ってこの地域の中でどういう産業をおこしていくかということを真剣に考えていかなければならない。
- ・交流人口を増やしていくことは重要。定住人口を増やすのはなかなか難しい。大事なのはいろんな人に来てもらい交流すること。交流分野はこの定住自立圏で一番進んでいる分野だが、地域内だけでなく地域外からの交流人口も増やしてもらいたい。
- ・サイトによる情報発信で、この定住自立圏でどういうことをしているかということをどんどん情報発信していってほしい。
- ・圏域バスについては、補助が終わったら終わりではなくて、補助が無くても民間が自立的にやっていけるように、民間に引き継げるようになっていってほしい。
- ・地域の農業を守っていくためにも、行政エリアを超えた鳥獣被害対策にも力を入れていただきたい。